

第8回P I 委員会傍聴者アンケート及びインターネット中継結果

1 会議概要

日 時：平成25年3月16日（土）13：00～15：00

場 所：静岡県東部総合庁舎 別棟2階 会議室

出席委員：石田委員長、高井委員、寺部委員、松浦委員（電話による参加）

傍聴人数：13人（12人提出）

2 アンケート結果

①P I プロジェクトについて

- 勉強会でも指摘したが、P Iに沼津市が出ていないことは不自然。一番の当事者が参加していないことの空しさを感じる。
- 沼津市がより市民の中に入って対応することを願う。
- P Iに対する県職員の地道な取り組みに敬意を表す。P Iが更にスムーズに進められることを期待する。
- ステップ2への積極的な取り組みを評価されステップ3へ進められた点がすばらしかった。P I委員の皆様からお褒めの言葉が多く発せられ、事務局の努力に敬意を表す。
- 静岡県職員の人事異動に伴うレベルダウンが懸念されるが、高いポテンシャルでP Iプロジェクトが進められることに期待する。
- 神戸の貨物駅について勉強会の参加者の方にビデオ等で見せて欲しい。
- すべてのことを勉強会で決めさせることはいかかなものか。これではますます時間がかかる。せめてP I委員会で決めることがないと困る。結論を先延ばしするのは知事だけで十分である。
- 沼津駅周辺整備事業の中で周辺整備が着々と進んでいる中で、高架事業だけが遅々として進んでいない。P Iを進めていくにあたってのご苦労は計り知れないと思うが、もっと早く進めて行って欲しい。

②P I 委員会について

- 2人の委員が欠席した中で、ステップ2の終了を決めきれずに、後ほど確認するという形で終了するという進め方は大丈夫なのか。
- 委員長の一言「如何なる意見も正確に吸い上げ記述しておくべし」に安堵した。鉄道高架のありきのムードを冷やすことが大切。

③ P I 委員会資料について

資料4 ステップ2（目標設定）地域づくりの目標（案）について

- ほぼ完了の運びとなっているが、それはテーマ②、③であってテーマ①についての目標設定がどうなっているか疑問である。
- 平成22年度に実施された有識者会議の議論のテーマを中心に設定し、会議開催期間中に起きた東日本大震災の教訓などが議論しつくされていない部分や新東名の基盤整備の今後の状況を踏まえ議論すべきと思うので、今回の目標設定は妥当だと思う。
- 広域的な地域づくりの視点について、沼津の目指すべき目標を考える上で伊豆半島と富士山という視点も入れて欲しい。
- 図表など広域的な地図を使用して広域を想像しやすい工夫がもっとあればよい。

資料5 ステップ3の進め方について

- 資料に主語がない。鉄道高架事業と貨物基地の文字がなく、これらの代替案、解決案ではないのか。

④その他

- 沼津駅付近では鉄道高架事業のまちづくり P I を、原地区では貨物駅移転のまちづくり P I をお願いしたい。
- 橋上駅、自由通路は反対者が鉄道高架をやらせないための理由にしているもので、こんな事を考える必要はない。
- 鉄道高架事業の意義、事業認可がされているということがどういうことかをもっと市民に反映させることが大きな力になる。
- とにかく変な方向に進んで行かないようにして欲しい。とにかく沼津を助けて欲しい。
- 時間がかかりすぎている。中心市街地での人口は減少していく。議会と行政は結論をすでに出している。キラメッセの1年遅れは取り返しがつかないが、前向きに進まなければ、南北の壁はコンベンションの大きなデメリットである。
- 勉強会時に沼津市から提出された財政見通しによると人口減少、商工業売上高減少の中で、税収が増えるとしているが、根拠を知りたい。

3 インターネット中継結果

- アクセス台数 パソコン 28 台
- 延べ視聴時間 8.9 時間